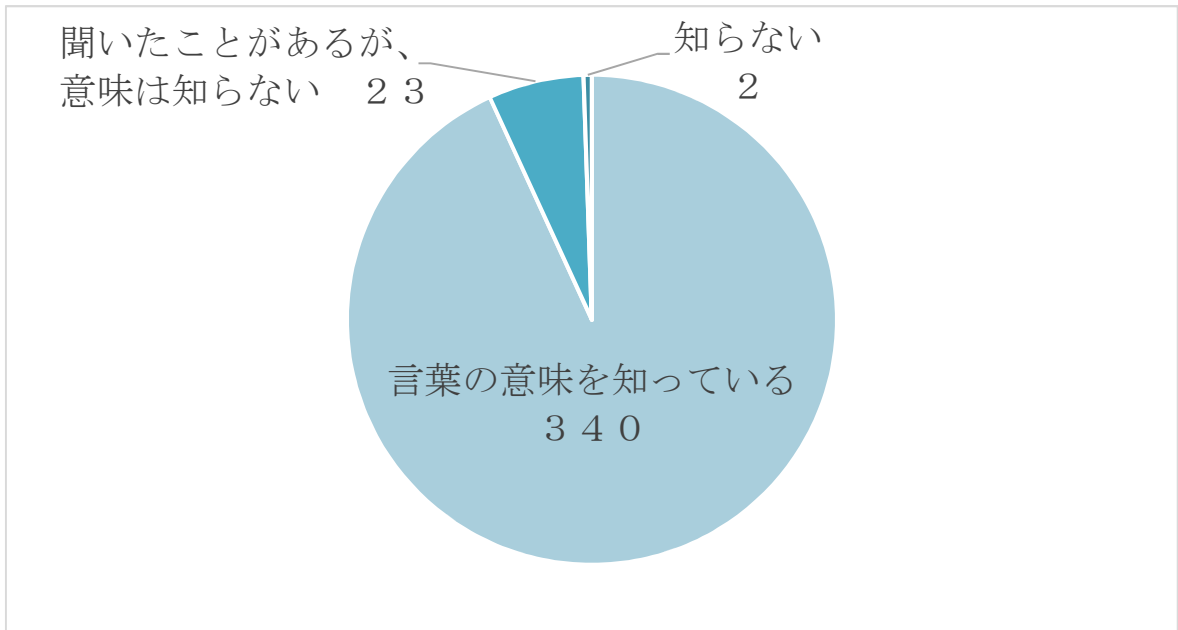


令和4年度 電子アンケート設問

LGBT等について（回答数366）

◆設問1

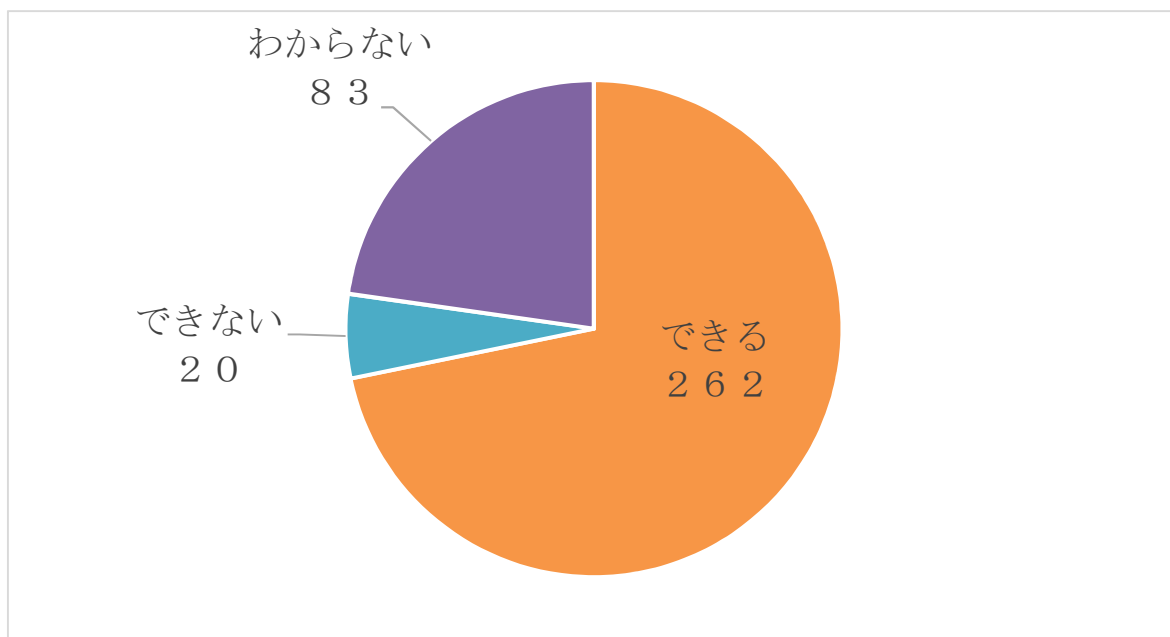
「LGBT等」または「性的少数者（性的マイノリティ）」という言葉を知っていますか。



「LGBT等」または「性的少数者（性的マイノリティ）」という言葉を知っているか聞いたところ、「言葉の意味を知っている」340人、「聞いたことがあるが、意味は知らない」23人、「知らない」2人という結果になりました。

◆設問2

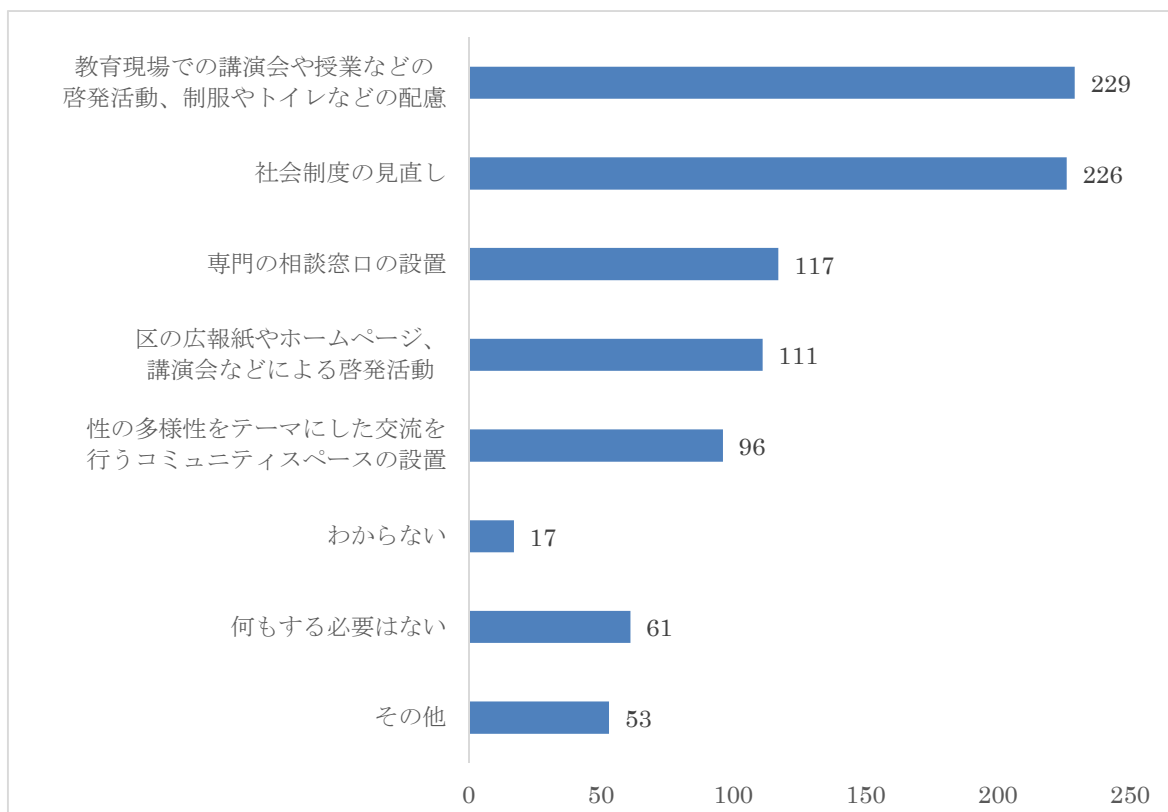
身近な方（家族、友人など）、学校や職場内の人に、性的マイノリティであることをカミングアウトされた場合、これまでと変わりなく接することができますか。
※カミングアウトとは、性的マイノリティであることを自分以外の人に打ち明けることを指します。



身近な方（家族、友人など）、学校や職場内の人に、性的マイノリティであることをカミングアウトされた場合、これまでと変わりなく接することができるか聞いたところ、「できる」262人、「できない」20人、「わからない」83人という結果になりました。

◆設問3

性の多様性を認め合う社会をつくるためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。(複数回答可)

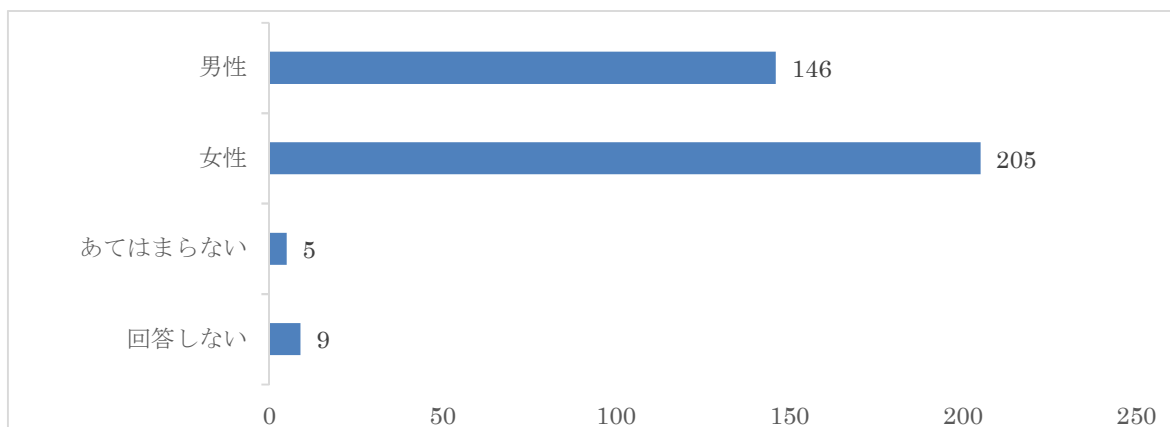


性の多様性を認め合う社会をつくるためには、どのような取り組みが必要だと思うか聞いたところ、とくに多かったのが「教育現場での講演会や授業などの啓発活動、制服やトイレなどの配慮」229人、「社会制度の見直し」226人、「専門の相談窓口の設置」117人、「区の広報紙やホームページ、講演会などによる啓発活動」111人という結果になりました。

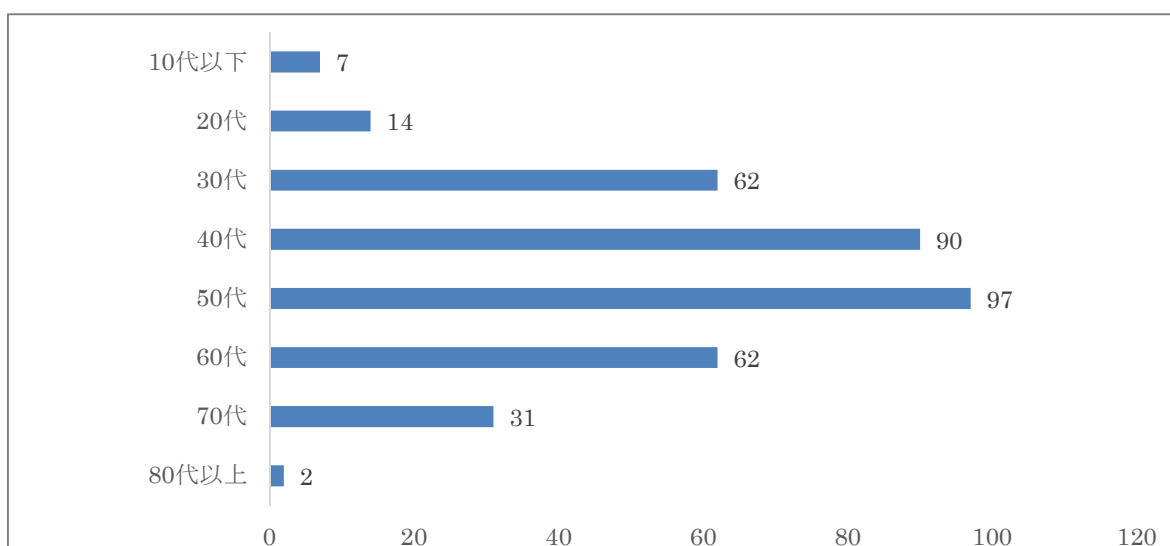
「その他」意見（抜粋）

- ・当事者の周囲にいる人々への講座等
- ・政治家の意識改革
- ・ドラマや漫画など、カルチャーによって浸透させる
- ・民間企業含め職場での啓発活動
- ・履歴書の性別欄をなくす
- ・行き過ぎた対応は逆に差別を生む原因となる
- ・性の多様性なんて存在しない
- ・LGBT以外または否定的な人の価値観も尊重し、多様性を認める社会を目指す
- ・トイレ、公衆浴場、着替え等、「心は女性」と言えばなんでも出来るというのは違うと思う。性犯罪に繋がる危険がある。身体的区別はして欲しい
- ・年配の方への啓蒙活動
- ・子どもだけでなく、親への教育

◆ F 1 回答者の性別



◆ F 2 回答者の年齢



◆ F 3 回答者の居住地

